

平成27年度弟子屈町スポーツ表彰が3月17日、町公民館で開催されました。

今年度は、スポーツ賞1人、スポーツ功労賞1人、スポーツ特別賞1人が選ばれ、それぞれ表彰状が贈られました。式では、受賞者を代表して弟子屈高校陸上部の西田健修君が「今年もスポーツ賞をいただいたのは、自分だけの力ではなく、指導者の方や家族、町民の皆さんの支えがあったからだと思います。自分自身は大学へ進学し、2020年の東京オリンピックを目指します」と謝辞を述べました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)

□スポーツ賞
▼西田健修(弟子屈高校3年)全道陸上競技大会砲丸投げ・八種競技

功績をたたえて 弟子屈町スポーツ表彰



表彰式の後で

- 優勝
- スポーツ功労賞
▼中島健一(摩周サッカースポーツ少年団)本町のサッカーの普及・発展に寄与
- スポーツ奨励賞
▼戸田勇大(川湯中学校3年)全道水泳大会(50mバタフライ)第2位
▼芝田遥夏(弟子屈中学校3年)全道水泳大会(400m個人メドレー)第5位
▼芝田洸太郎(弟子屈中学校1年)全道水泳大会(100mバタフライ)第3位
▼菅野佑(弟子屈中学校1年)全道水泳大会(1千500m自由形)第6位
- ▼濱岡菜月(川湯中学校1年)全道水泳大会(100m背泳ぎ)第3位
▼古舘桃奈(弟子屈中学校1年)全道陸上競技大会(C800m)第5位
▼濱岡凌平(弟子屈中学校3年)全道陸上競技大会(ジャベリックスロ)第4位
▼中島知明(弟子屈高校3年)全道陸上競技大会(やり投げ)第4位
▼西田千種(弟子屈高校2年)全道陸上競技大会(七種競技)第6位
▼野下ちはる(弟子屈高校2年)全道陸上競技大会(やり投げ)第5位
- スポーツ特別賞
▼吉田裕斗(中標津高等養護学校3年)陸上競技において年間を通じて優秀な成績を収めた。

地域の役に立ちたい 開成建設工業が町営球場を除雪

開成建設工業(株)の小澤由明代表取締役の皆さんが3月9日、町営球場の除雪作業を行いました。地域の役に立ちたいと、社会貢献活動の一環として行ったものです。



重機を使い丁寧に除雪

バトンで3人が 全国大会出場へ

バトントワラー弟子屈教室の宮下優心さん、森田由菜さん(以上弟子屈小学校6年)、藤原湖遥さん(同5年)、I & Mバトンスタジオの磯里美空さん(同2年)が、1月に札幌市で開催された第41回全日本バトントワリング選手権北海道支部大会に出場。優秀な成績を収め、3月25日から大阪市で開催された第41回全日本バトントワリング選手権大会に出場しました。結果については、広報でしかが5月号でお知らせします。



左から磯里さん、藤原さん、森田さん、宮下さん

キッズスクール2016
スポーツクリニック
野球教室

▼日時
4月23日(土)
9時～正午
(小中学生)
13時～16時
(中学生)

▼場所
町営野球場
※雨天時は弟子屈小学校体育館

▼講師
北海道日本ハムファイターズベースボールアカデミー 牧谷宇佐美氏、村田和哉氏

▼参加料/無料

□申し込み問い合わせ先/町体育協会事務局(町教育委員会社会教育課体育振興係内) ☎482・2948(課直通)まで。



昨年の野球教室の様子

日本経済の未来は、あなたの調査票から。

経済センサス

活動調査

平成28年6月1日 全国すべての事業所・企業のみなさまが対象です

調査は、事業所の形態により、以下の2種類の方法のうち、いずれかで行います。

◎支社などがない単独の事業所には、調査員が訪問して調査票を配布 ◎支社などがある企業等には、国が本社などに傘下の支社の調査票をまとめて郵送

平成28年6月1日

全国すべての事業所・企業が対象です。

一調査票は平成28年5月末までにお届けします。ご回答、よろしくお願いいたします。一

■この調査は統計法という法律に基づく基幹統計調査で、調査に回答する義務があります。 ■回答いただいた内容は統計作成の目的以外(税の資料など)には、絶対に使用しません。

ぜび インターネットでご回答ください。

<http://www.e-census2016.stat.go.jp/> 経済センサス2016 検索

総務省・経済産業省・北海道・弟子屈町からのお知らせです。



問い合わせ先/役場総務課総務係 ☎482-2912(課直通)

アイヌの自然 視

雪が解けたら...

屈斜路湖にも春の光

皆さんは「水が凍って氷になる」と思いますか? 「雪が解けて水になる」と思いますか?

「水が凍って氷になる」と考えるのは暖かい地方で暮らしている人であり、1年の半分以上を氷と雪の中で暮らしてきたアイヌの人たちの発想は「雪(氷)が解けたものが水」だったそうです。

今シーズン、全面結氷した屈斜路湖も、だんだんと氷が解け始め、水の部分が多くなり始めています。

【参考文献】北の歳時記/計良光範 著

EMC通信

～川湯の森から～

天気予報でよく「暦の上では…」と耳にしますが、北海道においては少々ズレを感じませんか? 日本列島を北上中の桜の前線を見てもお分かりのように、始まりから終点となる道東までは2カ月ほどの開きがあります。町内でサクラを見るには、あと1カ月くらいかかります。とはいえ、皆さんも近づいて春の訪れを感じられていることだと思います。

わが町で春の到来を教えてくれるもの

「春告鳥」という言葉をご存じでしょうか。ウグイスの異名です。本州では周年鳥ですが北海道では夏鳥なので、町内ではヒバリ(同じく夏鳥)のさえずりのほうが先に聞こえます。また、「春告草」はウメを表しますが、この辺りではキタコブシの方がなじみ深いかもれません。近ごろの北海道では「春告獣」という表現があります。ヒグマのことです。冬ごもりを終え、食べ物を探して活発に動き始めることになりました。山菜を求めて歩き回る人間との、突発的な遭遇がないことを願います。

春は別れと出会いの季節。自然はもちろん、人の動きもまたしかり。わが町に転入された皆さま、ようこそ! 阿寒国立公園川湯地域の自然を、存分にお楽しみください。

川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎483-4100
URL http://www6.marimo.or.jp/k_etc/ 4月は8:00～17:00開館 毎週水曜日休館